

漁海況情報第10報 (2015年1月16日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

本県海域の水温は表面、100m層とも概ね平年より低めで、沖合域からの冷水波及がみられています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温、100m深水温ともに5~10℃台となっており、概ね平年より低めとなっています。また沖合域からの親潮系冷水の波及がみられ、仙台湾を除き表面、100m層とも1~4℃低めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、142° 30' E以西では表層から100m付近まで水温が均一になっています [P2.水温鉛直断面図]。

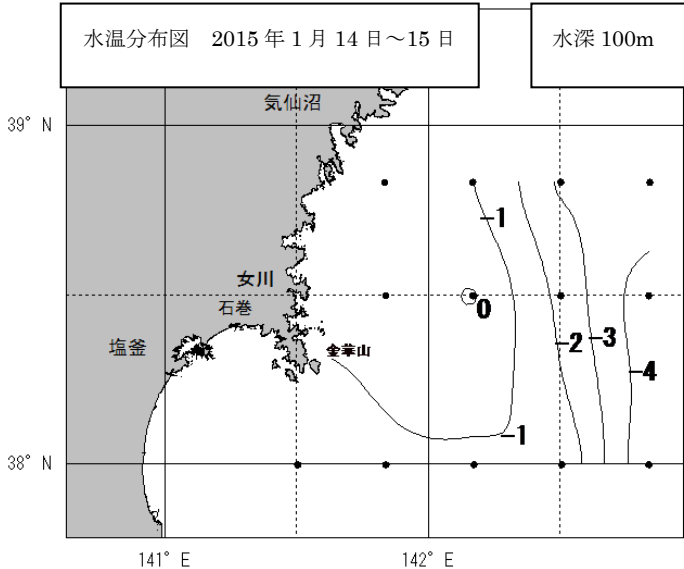
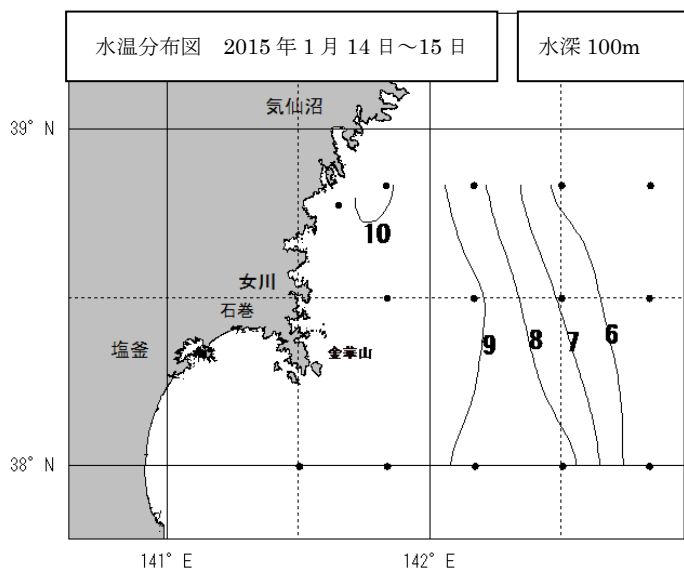
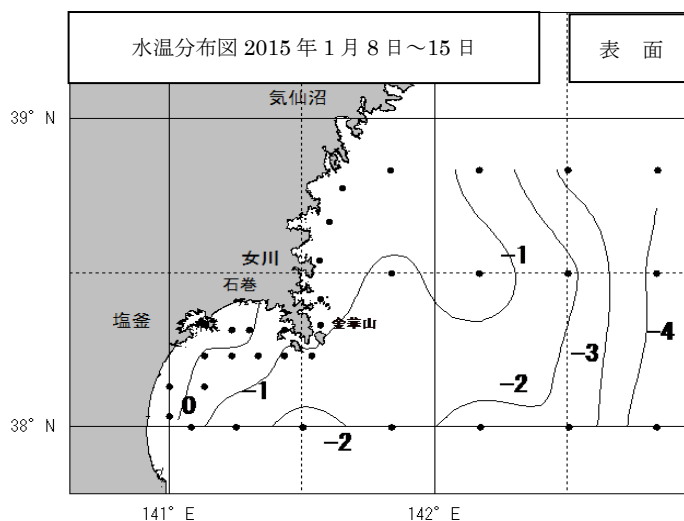
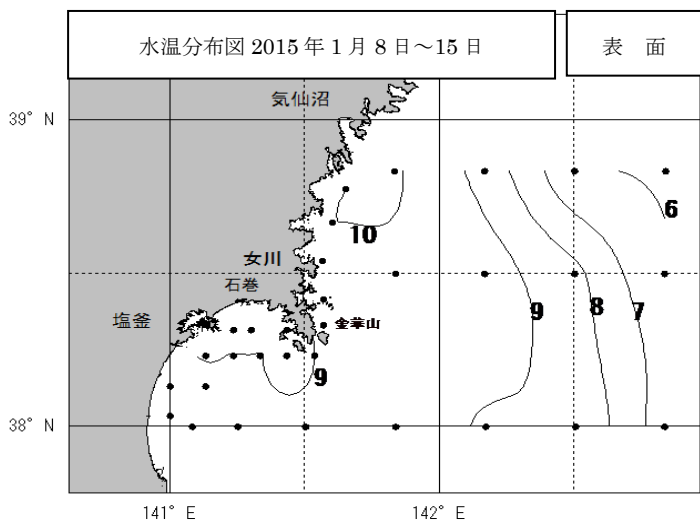
(一社) 漁業情報サービスセンターによると、親潮(O1)が南下する一方で、津軽暖流(TW)も強勢に南下し、三陸沖暖水渦(H1)と仙台湾沖暖水渦(H2,中心水温14℃台)があることがわかります。 [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

1月上旬の定地水温は4~10℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)及び江島が「やや低め」、田代島及び佐須浜が「平年並み」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、9~10℃台であり、金華山沖の38° N~38° 30' Nが前年同期より高めである以外は低めでした [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

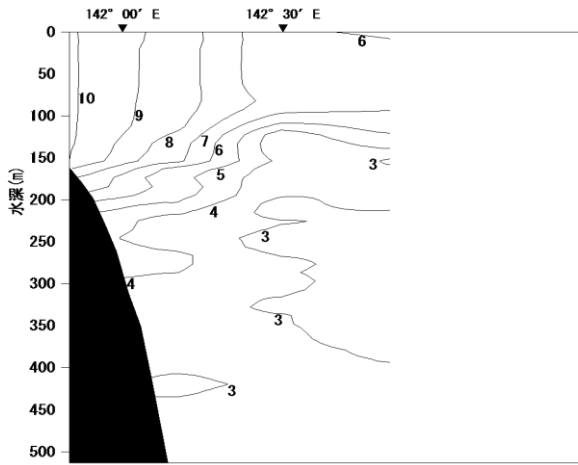
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



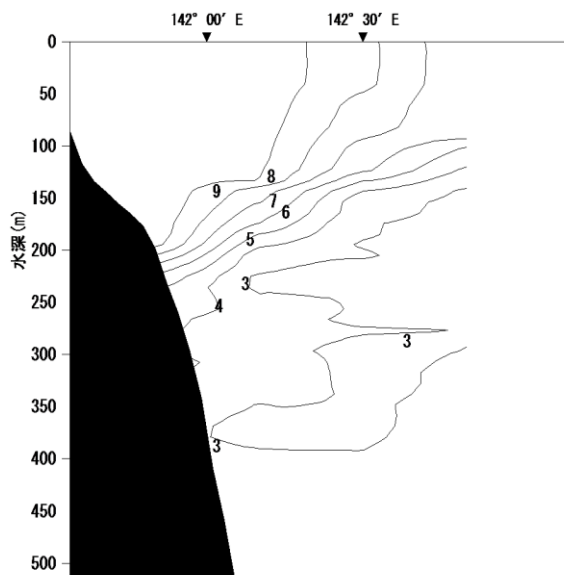
※海洋観測はみやしおと開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

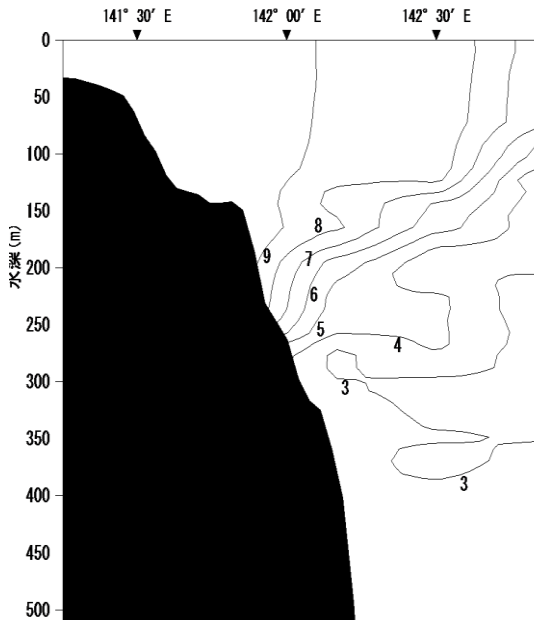
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

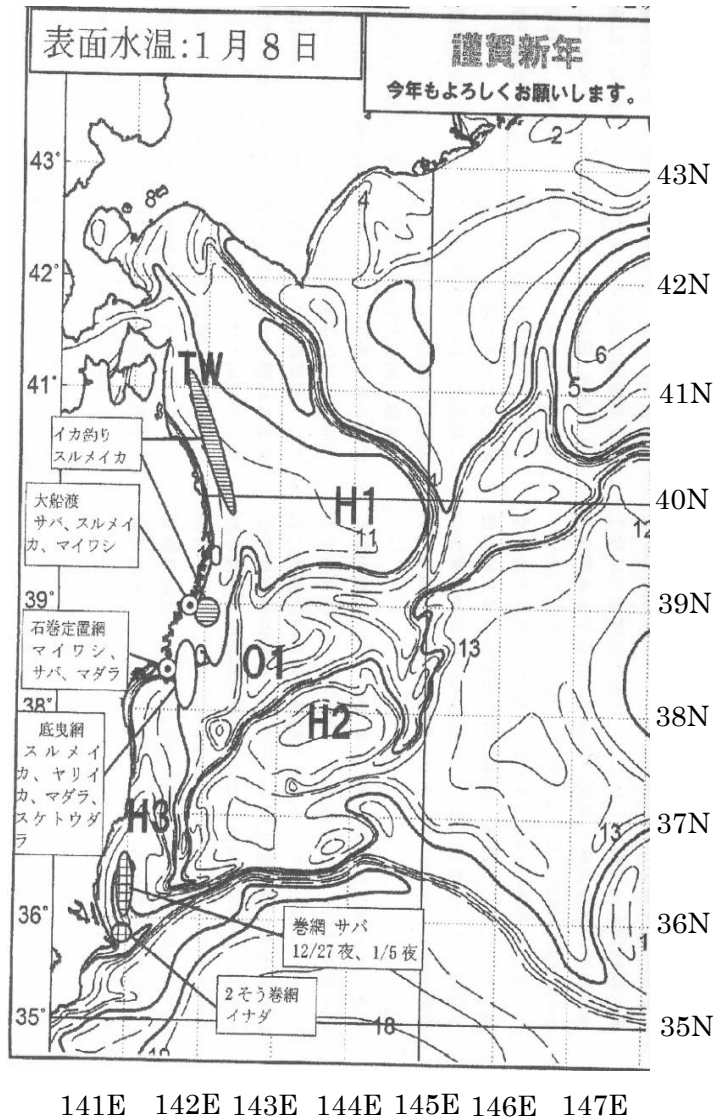


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2015年1月8日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

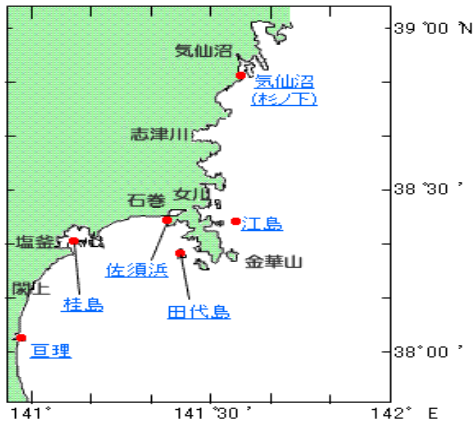
【海況】(1月8日表面水温)

- ・親潮(O1)が南下し 10℃台先端は日立沖 50 海里に到達。
- ・下北～仙台湾の沿岸は 6～9℃台に降温しているが、津軽暖流(TW)が強勢に南下し 10～15 海里以上の沖合の海域では 10～11℃台を維持。
- ・三陸沖暖水渦(H1)と仙台湾沖暖水渦(H2,中心水温 14℃台)は継続。

【漁況】(12月26～1月8日)

- ・1 そう巻網：鹿島灘沖で 1/5 夜に 8,003t 漁獲。大型魚が増加し、500g 以上の割合は石巻水揚船で 0～38%。
- ・三陸定置網：サバ、マイワシ、スルメイカ、マダラ主体。女川町江島定置網は 60～120g のマイワシ大中羽を 1 日 100t 前後継続して水揚。

・定地海洋観測



観測点	1月上旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	8.7℃	やや低め	-0.9℃
江島	10.1℃	やや低め	-0.8℃
田代島	8.8℃	平年並み	-0.4℃
佐須浜	7.5℃	平年並み	-0.7℃
桂島	4.6℃	-	-1.6℃
亶理	8.7℃	-	-0.1℃

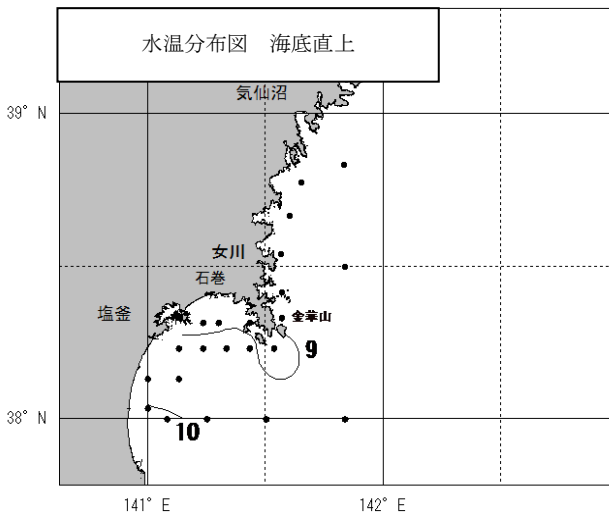
※田代島と佐須浜は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差：(気仙沼)杉ノ下, 江島, 田代島 (30年), 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年2月から観測開始)
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

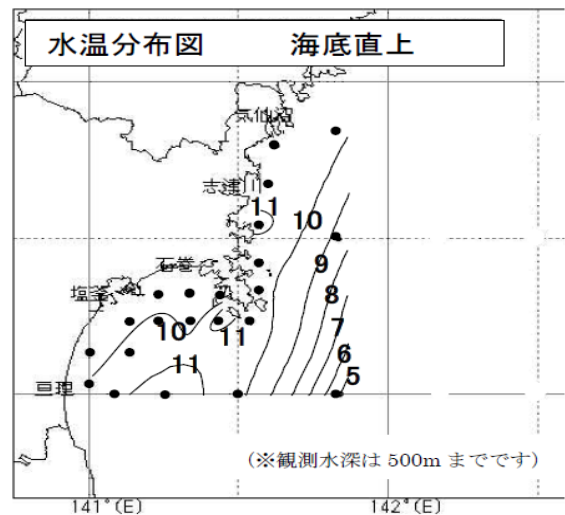
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201501suion-index.html> でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2015年1月8日～15日)

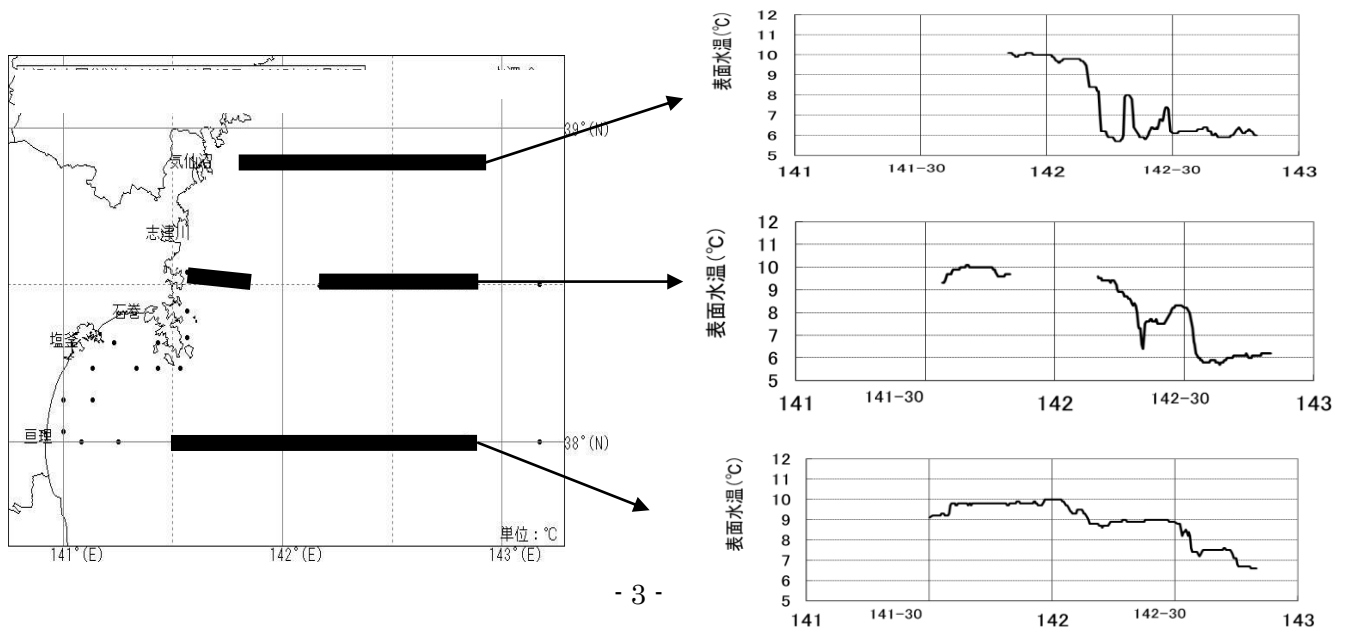


・海底直上水温(2014年1月7日～15日)



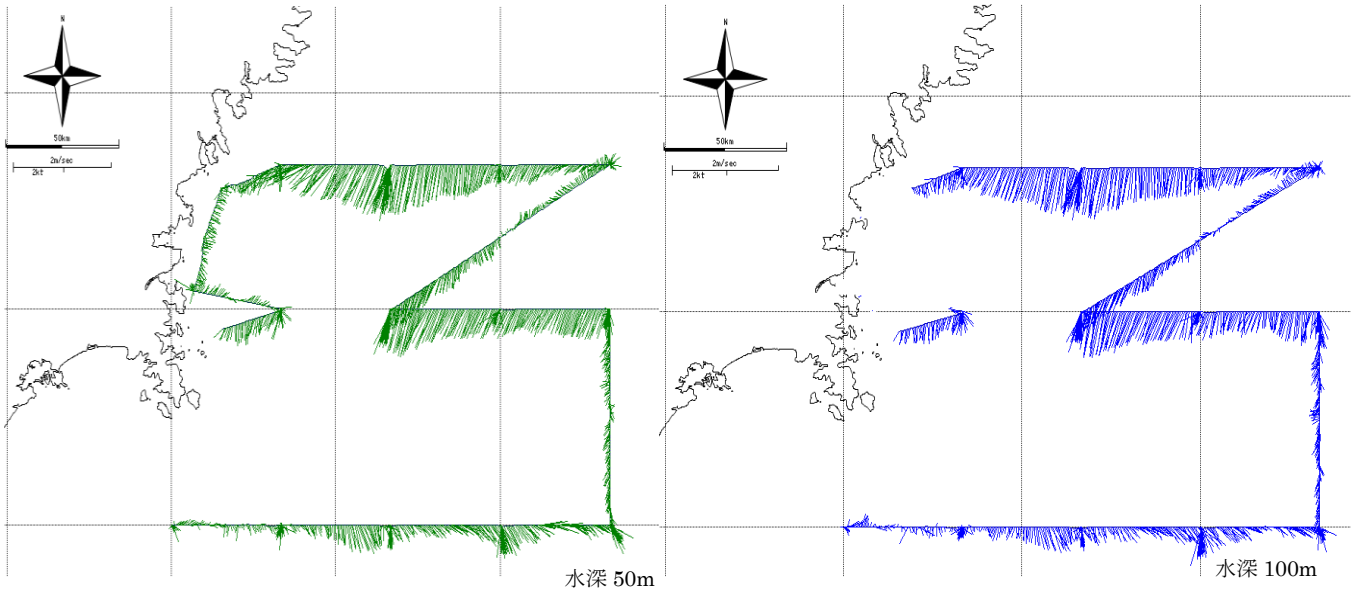
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。気仙沼沖、雄勝沖及び亶理沖の流向は概ね南向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 26 年 12 月の水揚量を見ると、前年に比べカツオ、メバチマグロ(ダルマ含む)、カタクチイワシ、マアジ、スルメイカ、マアナゴ及びマガレイを除いて水揚げが多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成26年12月1日~12月31日)

単位:トン

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
カツオ									0		0	0%
ピンナガ									545	6	551	130%
クロマグロ(メジ含む)						0			0	7	9	116%
メバチマグロ(ダルマ含む)									181	56	237	85%
マイワシ		0				2048				29	2077	454%
カタクチイワシ						250				0	251	24%
さば類	16	0	7031			269	8			9	7334	161%
サンマ				3603						1	3604	743%
ブリ	0	0				128	2			5	135	142%
マアジ	0	0				6	0			0	8	17%
サワラ	0	0				17	0		0	0	17	644%
スルメイカ	769	4				37	0	15		3	829	56%
ヤリイカ	311	47				40		11		1	410	311%
マダラ	591	3				4	31		8	347	984	121%
スケトウダラ	98	3				0	3		0	5	109	112%
キチジ	0									1	2	165%
キアンコウ	11	7				0	0			0	19	179%
マアナゴ	5	9				0	0			25	40	65%
ヒラメ	12	36				7	9			4	68	115%
マコガレイ	0	6				2	13			6	27	118%
マガレイ	6	21					3			0	30	81%
サメガレイ	1						0			0	1	230%
ババガレイ	9	0				0	0			9	18	102%
シロサケ	0	0				295	7			41	343	117%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 調査船運航計画

みやしお	
1 月 20 日 ~ 1 月 22 日	イカナゴ稚仔魚調査
1 月 27 日 ~ 1 月 28 日	沿岸定線調査

開 洋	
1 月 26 日 ~ 1 月 28 日	浅海定線調査